



# 平成28年度 京都大学防災研究所 研究発表講演会 プログラム

開催日：2017年2月21日(火)～22日(水)

場 所：京都大学宇治キャンパス (宇治市五ヶ庄)

JR 奈良線黄檗駅から徒歩約5分 京阪宇治線黄檗駅から徒歩約6分

入場無料

## 2月21日(火)

所長挨拶	きはだホール (宇治おうばくプラザ)	.....	9:30 ~ 9:35
DPRI Award 授賞式	きはだホール (宇治おうばくプラザ)	.....	9:35 ~ 9:50
受賞記念講演	きはだホール (宇治おうばくプラザ)	.....	9:50 ~ 11:30
特別講演	きはだホール (宇治おうばくプラザ)	.....	11:40 ~ 14:30
災害調査報告	きはだホール (宇治おうばくプラザ)	.....	14:40 ~ 15:30

※9:30～15:30 Ustream 配信します。 配信サイト：<http://www.ustream.tv/channel/dpri>

一般講演	.....	15:45 ~ 19:15
ポスターセッション	ハイブリッドスペース (宇治おうばくプラザ)	... 9:30 ~ 19:15

## 2月22日(水)

一般講演	.....	9:00 ~ 12:00
ポスターセッション・コアタイム	ハイブリッドスペース (宇治おうばくプラザ)	... 12:00 ~ 14:00
一般講演	.....	14:00 ~ 17:00
ポスターセッション	ハイブリッドスペース (宇治おうばくプラザ)	... 9:00 ~ 15:00
優秀発表賞授賞式懇親会	宇治生協会館	..... 18:00 ~ 20:00

### 一般講演会場

	A会場 きはだホール (宇治おうばくプラザ)	B会場 セミナー室1+2 (宇治おうばくプラザ)	C会場 セミナー室4+5 (宇治おうばくプラザ)	D会場 S-143H (宇治地区研究所本館)	E会場 S-519D (宇治地区研究所本館)	ハイブリッドスペース (宇治おうばくプラザ)
21日(火) 15:45~19:15	地震・火山 (I)	大気・水 (I)	大気・水 (II)	地盤 (I)	総合防災 (I)	ポスター セッション 21日 9:30~19:15 22日 9:00~15:00 (コアタイム: 12:00~14:00)
22日(水) 午前 9:00~12:00	地震・火山 (II)	大気・水 (III)	大気・水 (IV)	地盤 (II)	総合防災 (II)	
22日(水) 午後 14:00~17:00	地震・火山(III) オーガナイズド セッション(I)	大気・水 (V)	オーガナイズド セッション(II)		総合防災 (III)	

※詳しい会場案内図は21ページをご参考ください。

<p><b>DPRI Award 授賞式・特別講演・災害調査報告</b> 2月21日(火) 9:30～15:30</p>	<p>きはだホール</p>
--	---------------

<p>9:30 所長挨拶</p> <p style="text-align: right;">所長 寶 馨</p>	<p>〈特別講演〉 11:40～14:30</p>
<p>9:35 DPRI Award 授賞式</p> <p><b>Prof. Michel JABOYEDOFF</b> Institute of Earth Sciences at Faculty of Geosciences and Environment, University of Lausanne</p> <p><b>Risk and Resilience Program, International Research Institute for Applied Systems Analysis</b></p>	<p>11:40</p> <p>時の流れ — 建築・防災の教育と研究を ふりかえって</p> <p style="text-align: right;">教授 中島正愛</p> <p style="text-align: center;">&lt;休 憩&gt;</p>
<p>〈受賞記念講演〉 9:50～11:30</p>	<p>13:10</p> <p>地震時の複合地盤災害研究の動向と展望</p> <p style="text-align: right;">教授 井合進</p>
<p>9:50</p> <p>Emerging Techniques and Impact of Human Activities in Landslide Risk Management: 3D Analysis and Human Induced Landslides</p> <p>地すべりリスクマネジメントにおける新技術の 出現と人間活動の影響：3次元解析と人的要因に よる地すべり</p> <p style="text-align: right;">Prof. Michel JABOYEDOFF</p>	<p>13:50</p> <p>海岸工学を専攻して — 劣等感からの出発 —</p> <p style="text-align: right;">教授 間瀬肇</p> <p style="text-align: center;">&lt;休 憩&gt;</p>
<p>10:40</p> <p>From Kobe to Sendai. Tracing Progress in Risk Discourse and Analysis for Informing Risk Management and Climate Adaptation</p> <p>神戸から仙台へ：リスク管理と気候変動適応策に 関わる議論と分析の進展状況を追跡する</p> <p style="text-align: right;">Dr. Reinhard MECHLER Deputy Program Director, Risk and Resilience Program, International Research Institute for Applied Systems Analysis</p>	<p>〈災害調査報告〉 14:40～15:30</p> <p>14:40</p> <p>(概説) 2016年の災害について</p> <p style="text-align: right;">教授 牧紀男</p> <p>14:45</p> <p>熊本地震の発生過程について</p> <p style="text-align: right;">教授 飯尾能久</p> <p>15:00</p> <p>熊本地震における益城町の地震動被害</p> <p style="text-align: right;">准教授 後藤浩之</p>
<p style="text-align: center;">&lt;休 憩&gt;</p>	<p>15:15</p> <p>北海道で発生する河川災害の特徴</p> <p style="text-align: right;">准教授 竹林洋史</p>

<p>一般講演……地震・火山（I） 2月21日（火） 15:45～18:15</p>	<p>A 会場 きはだホール</p>
--	------------------------

15:45 A01  
InSAR データの弱非線形インバージョン解析による熊本地震の滑り分布の推定  
○深畑幸俊・橋本学

17:45 A08  
地震波速度変化に対するコーダ波走時の近似ベクトル感度カーネル  
○中原恒・江本賢太郎

16:00 A02  
2016年熊本地震の震源近傍強震動特性  
○岩田知孝・浅野公之

18:00 A09\*  
2011年東北地方太平洋沖地震発生前の沈み込み帯浅部で発生する Micro Low-Frequency Tremor  
○片上智史・伊藤喜宏・太田和晃・日野亮太・鈴木秀市・篠原雅尚

16:15 A03  
2016年熊本地震本震の断層近傍から阿蘇カルデラにかけての地震動  
○浅野公之・岩田知孝

16:30 A04\*  
平成28年熊本地震の余震記録を用いた熊本県西原村周辺の地盤構造の推定  
○小林弘和・松島信一

16:45 A05  
益城町市街地の2016年熊本地震被害集中域における非線形地盤応答特性  
○吉見雅行・後藤浩之・秦吉弥・吉田望

<休憩>

17:15 A06  
2016年2月6日台湾美濃地震による地盤変動と被害  
○橋本学・景國恩・Ray CHUANG・胡植慶

17:30 A07\*  
強震記録を用いたレシーバ関数解析による京都盆地の基盤深度  
○下村智也・浅野公之・岩田知孝

(注) ○は発表者を、  
発表番号右上の\*は、優秀発表賞対象者を示します。

A  
会場

21  
日  
午後

B  
会場

C  
会場

D  
会場

E  
会場

ポ  
ス  
タ  
ー

一般講演……地震・火山(Ⅱ)  
2月22日(水) 9:00~12:00

A 会場  
きはだホール

A 会場

22 日  
午前

9:00 A10\*

ゴム支承の性能低下に対する変位拘束ケーブルの対策効果—漸増動的解析による評価

○栗野翔太・五十嵐晃

10:45 A16

阿蘇火山における連続微動の発生位置

○市村美沙・横尾亮彦・鍵山恒臣・吉川慎・井上寛之

B 会場

9:15 A11\*

An Experimental Study on the Seismic Response of BIEs using Mechanical Pins

○Konstantinos A. SKALOMENOS・Hironari SHIMADA・Hiroyuki INAMASU・Masahiro KURATA・Masayoshi NAKASHIMA

11:00 A17\*

Combination of Spherical Source and Block Movement for Ground Surface Change Analysis at Merapi Volcano prior Eruptions in 2006 and 2010

○Nurnaning AISYAH・Masato IGUCHI

C 会場

9:30 A12\*

Biaxial Configuration of Minimal-Disturbance Arm Damper for Seismic Rehabilitation

○Lei ZHANG・Tadahisa TAKEDA・Masahiro KURATA

11:15 A18

2015年8月桜島で発生したマグマ貫入イベント前後の火山活動について

為栗健

9:45 A13\*

台湾の超高密度 GNSS データのクラスタ解析によるブロック構造の研究

○高橋温志・橋本学・胡植慶・深畑幸俊

11:30 A19

桜島火山周辺における精密水準測量(2016年11月)

○山本圭吾・松島健・吉川慎・内田和也・井上寛之・大倉敬宏・園田忠臣・竹中悠亮・中本幹大・荒上夏奈・手操佳子・森田花織・末次秀規・満永大輔・長山泰淳

D 会場

10:00 A14

GNSS 観測による 2016 年鳥取県中部の地震の地殻変動

西村卓也

11:45 A20\*

Orographic Effects on the Transport and Deposition of Volcanic Ash – A Sakurajima Case Study

○Alexandros-Panagiotis POULIDIS・Tetsuya TAKEMI・Masato IGUCHI

E 会場

10:15 A15

鳥取県西部地域における満点地震観測

○飯尾能久・米田格・澤田麻沙代・伊藤喜宏・片尾浩・富坂和秀・長岡愛理・松本聡・宮崎真大・酒井慎一・加藤愛太郎・林能成・山品匡史・大久保慎人

ポスター

<休 憩>

(注) ○は発表者を、  
発表番号右上の\*は、優秀発表賞対象者を示します。

<b>一般講演……地震・火山（Ⅲ）</b> 2月22日（水）14：00～14：30	<b>A 会場</b> きはだホール
--	-----------------------

14：00 A21

**霧島火山群硫黄山周辺の地熱活動の変化**

○鍵山恒臣・吉川慎・大沢信二・三島壮智・黄有志

14：15 A22

**焼岳火山の研究監視観測網の現状**

○大見土朗・井口正人・飯尾能久

<b>一般講演……オーガナイズドセッション（Ⅰ）</b> 2月22日（水）14：45～17：00	<b>A 会場</b> きはだホール
---	-----------------------

〈拠点間連携共同研究〉

14：45

**社会動態が地震災害に及ぼす将来的影響の定量評価**

○岡田成幸・中嶋唯貴

15：00

**K-NET 日立近傍における地震と微動観測による地盤震動特性の評価**

○地元孝輔・津野靖士・東貞成・佐藤浩章・重藤迪子・高井伸雄・松島信一・早川崇・山中浩明・川瀬博

15：15

**ダムに隣接する地すべり土塊の地震時危険度評価と熊本地震後の斜面変動監視手法開発**

○齊藤隆志・中屋志郎・中屋志津男・佐藤比呂志

15：30

**緊急地震速報と建物モニタリング情報を利用した地震災害誘因の同定**

○倉田真宏・新本翔太・和田拓也・山田真澄・楠浩一・柏尚稔・溜淵 功史

15：45

**Issues and Challenges in Seismic Risk Evaluation and its Uncertainty Reduction for Nankai Trough Earthquake**

○Seung Han LEE・Kazuyoshi NISHIJIMA・Shinichi MATSUSHIMA・Masatoshi MIYAZAWA・Kimihiro MOCHIZUKI・Takashi IIDAKA・Kyohei UEDA・Hiroshi KAWASE・Norio MAKI

〈SATREPS メキシコ〉

16：15

**メキシコ沿岸部の巨大地震・津波災害の軽減に向けた総合的研究**

伊藤喜宏

16：30

**メキシコ太平洋側の確率的津波評価**

○森信人・合田且一郎・Angel ANGULO・安田誠宏

16：45

**メキシコ・シワタネホでの学校における津波避難訓練ーダブルバインド状態の解消に向けて**

○中野元太・矢守克也・伊藤喜宏・孫英英・李勇昕

A  
会場

22  
日  
午後

B  
会場

C  
会場

D  
会場

E  
会場

ポ  
ス  
タ  
ー

一般講演……大気・水（I）  
2月21日（火）15：45～19：00

B 会場  
セミナー室1+2

A  
会場

15：45 B01\*

気候変動によるダム利水運用への影響評価に関する基礎的検討

○鈴木俊亮・野原大督・堀智晴・佐藤嘉展

17：45 B08\*

Two-Dimensional Hydrodynamic Modeling of Air-Water 2-Phase Flow in Urban Sewer System

○Chong Soo HAN・Kenji KAWAIKE・Hajime NAKAGAWA

B  
会場

16：00 B02\*

同一水系内ダム群の長期的な治水機能維持を目指した土砂マネジメント手法の検討

○倉橋実・角哲也

18：00 B09\*

Experimental and Numerical Study of Tidal Basin Management around Link Canal : A Case Study of Bangladesh

○Rocky TALCHABHADEL・Hajime NAKAGAWA・Kenji KAWAIKE・Kazuyuki OTA

21  
日  
午後

16：15 B03\*

園部川流域における洪水氾濫解析

○仲浩明・田中賢治・佐山敬洋・田中茂信

C  
会場

16：30 B04\*

バングラデシュ・ゴワイン川における河床上昇を考慮したフラッシュフラッドの氾濫解析

○橋本雅和・川池健司・長谷川祐治・出口知敬・中川一

18：15 B10\*

A Reservoir Operation Scheme for Integrated Water Resource Modeling

○Maochuan HU・Kenji TANAKA・Takahiro SAYAMA・Shigenobu TANAKA

D  
会場

16：45 B05\*

置土から生じる土砂の波が下流河床に及ぼす効果の予測方法の提案

○宮川幸雄・角哲也・竹門康弘

18：30 B11\*

Study on Planning of a Small Hydropower Development under Consideration with the Basin Environment

○Kazuki TERADA・Yasuhiro TAKEMON・Motoyuki INOUE・Sohei KOBAYASHI・Yoshinobu SATO・Tetsuya SUMI

<休 憩>

E  
会場

17：15 B06\*

砂州河道における河床強度と間隙率の時空間分布特性

○西浦潤・竹林洋史・藤田正治

18：45 B12\*

天竜川下流域における濁水の量的・質的变化と砂州地形特性の関係について

○高橋真司・兵藤誠・角哲也・竹門康弘

ポ  
ス  
タ  
ー

17：30 B07\*

表層崩壊から土石流までを考慮した一連の土砂流出解析モデル

○孝子 綸図・山野井一輝・和田孝志・堤大三・藤田正治

(注) ○は発表者を、  
発表番号右上の\*は、優秀発表賞対象者を示します。

一般講演……大気・水（Ⅲ） 2月22日（水）9：00～12：00	<b>B会場</b> セミナー室1+2
-------------------------------------	------------------------

9：00 B13\*  
**小渋ダムの排砂バイパストンネルにおけるプレート型センサを用いた掃流砂量計測**  
 小柴孝太

10：45 B19\*  
**地下水取水を考慮した全球陸域水循環モデルの評価**  
 ○塩尻大也・田中賢治・田中茂信・浜口俊雄

9：15 B14\*  
**Physical Modeling and Numerical Analysis of Tsunami Inundation in a City Scale**  
 ○Adi PRASETYO・Takuya MIYASHITA・Tomohiro YASUDA・Nobuhito MORI・Hajime MASE

11：00 B20\*  
**陸域水循環モデルおよび衛星観測を用いたナイル川・大規模氾濫に関する研究**  
 ○小林優・田中茂信・田中賢治・浜口俊雄

9：30 B15\*  
**地震のスケーリング則を考慮した津波高の確率評価に関する研究**  
 ○丸山拓真・安田誠宏・合田且一郎・森信人・間瀬肇

11：15 B21\*  
**東南アジア地域のコメの収量に強い影響を及ぼす気象因子の推定**  
 ○山田将平・田中賢治・田中茂信・浜口俊雄

9：45 B16  
**飛散物の動的空力特性の直接計測システムの試作**  
 ○丸山敬・松居健人・西村宏昭・野田博・西嶋一欽

11：30 B22\*  
**ENSO 時の熱帯海面水温偏差と日本の冬の天候**  
 ○塩崎公大・榎本剛・高谷康太郎

10：00 B17\*  
**建物群の風圧特性を考慮した市街地の強風被害リスク評価手法の構築**  
 ○美並浩成・西嶋一欽・丸山敬・西村宏昭・ガヴァンスキ江梨

11：45 B23\*  
**土地被覆分類を考慮したひまわり8号による地表温度の推定**  
 ○山本雄平・石川裕彦

10：15 B18\*  
**木津川におけるアユの生息場をもとにした適正土砂輸送量の推定**  
 ○三島康二・角哲也・竹門康弘・小林草平

<休憩>

(注) ○は発表者を、  
 発表番号右上の\*は、優秀発表賞対象者を示します。

A  
会場

B  
会場

22  
日  
午前

C  
会場

D  
会場

E  
会場

ポ  
ス  
タ  
ー

一般講演……大気・水（V）  
2月22日（水） 14：00～17：00

B 会場  
セミナー室1+2

A  
会場

14：00 B24  
火山観測機器を用いた土石流の量的検出  
井口正人

15：45 B30  
水田地帯の影響を考慮した常総市の洪水・土砂氾濫解析  
○川池健司・橋本雅和・中川一

B  
会場

14：15 B25  
エジプトの王家の谷におけるフラッシュフラッドのリスク評価  
小木曾友輔・○角哲也・Sameh KANTOUSH・Mohamed SABER・Mohammed ABDEL-FATTAH

16：00 B31  
ロボットボートによる河川流速計測システムの開発  
○山上路生・長坂豪士・磯部駿祐

22  
日  
午後

14：30 B26  
Assessing Flash Floods Prone Regions at Wadi basins in Aswan, Egypt  
○Mohamed SABER・Sameh KANTOUSH・Mohamed ABDEL-FATTAH・Tetsuya SUMI

16：15 B32  
走行速度を考慮した降雨強度推定手法の開発  
○東俊孝・中北英一・山口弘誠

C  
会場

14：45 B27  
A Comparative Study between Flash Floods in Arid and Semi-arid Basins with Respect to Economic Mitigation Measures  
Jose MOYA・○Sameh A. KANTOUSH・Mohammed ABDEL-FATTAH・Tetsuya SUMI・Mohamed SABER

16：30 B33  
台風時における風向・風速変化を考慮した免震ダンパーの疲労損傷評価  
○佐藤大樹・西嶋一欽・吉敷祥一

D  
会場

15：00 B28  
気象庁中長期アンサンブル降水予測情報を考慮した実時間ダム利水操作に関する研究  
○野原大督・堀智晴・佐藤嘉展

16：45 B34  
淀川水系における海産天然アユ個体群の現状と課題  
○竹門康弘・谷口順彦

E  
会場

15：15 B29  
2016年4月熊本地震が緑川および白川の河道に与えた影響について  
○大本照憲・矢野真一郎・二瓶泰雄・竹林洋史・田代喬・平川隆一・石蔵良平・田井明・木村延明・小森田智大・倉上由貴

ポ  
ス  
タ  
ー

<休 憩>



<p>一般講演……大気・水（Ⅱ） 2月21日（火） 15：45～19：00</p>	<p>C会場 セミナー室4+5</p>
---	-------------------------

15：45 C01\*

海面気圧の主成分を考慮した統計的波浪特性  
推定手法の開発

○岸本理紗子・森信人・志村智也・間瀬肇

17：30 C08\*

実在都市の複雑な粗度をもたらす境界層乱流  
への影響

○吉田敏哉・竹見哲也

16：00 C02\*

不規則波の Stokes Drift とネスティングを導入した  
海洋・波浪結合モデルの構築

○今井優樹・森信人・二宮順一・間瀬肇

17：45 C09\*

WRF Study of Wind Characteristics in High  
Latitude Terrain

○Haotian DONG・Tetsuya TAKEMI

16：15 C04\*

大規模アンサンブル気候予測実験に基づく韓国  
沿岸における将来発生可能な高潮の予測

○梁 靖雅・森信人・間瀬肇

18：00 C10\*

Extreme Weather Event Analysis in Southern  
Bulgaria and Climate Change Influence

Toma E. STOYANOV

16：30 C05\*

ゲリラ豪雨予測の高精度化に向けた積乱雲の  
鉛直渦管生成メカニズムに関する研究

中北英一・○佐藤悠人・山口弘誠

18：15 C11\*

台風の最大潜在強度にもとづく 高潮偏差の長期  
変動評価

森信人・○有吉望・安田誠宏・間瀬肇

16：45 C06\*

XRAIN のアンサンブル同化によるメソ対流系  
発生時における大気中下層の解析

山口弘誠・○堀池洋祐・中北英一

18：30 C12\*

弱コリオリ力におけるハリケーン強度のアンサ  
ンブル予報実験

○吉岡大秋・榎本剛

<休 憩>

18：45 C24

Investigation on Transient Impact Response  
of Layered Structures

○Amr NASSR・Tomomi YAGI・

Takashi MARUYAMA・Gen HAYASHI

17：15 C07\*

Preliminary Investigation of Generation of  
Guerilla-Heavy Rainfall using Himawari-8  
and XRAIN Information in Kinki Region

○Wendi HARJUPA・Eiichi NAKAKITA・

Kosei YAMAGUCHI

(注) ○は発表者を、  
発表番号右上の\*は、優秀発表賞対象者を示します。

A  
会場

B  
会場

C  
会場

21  
日  
午後

D  
会場

E  
会場

ポ  
ス  
タ  
ー

一般講演……大気・水 (IV)  
2月22日(水) 9:00 ~ 12:00

C 会場  
セミナー室4+5

A  
会場

9:00 C13\*

Performance Evaluation of Near-Surface  
Atmosphere Variables Simulations over  
Paraguay using a Land-Atmosphere Coupled  
Model

○Alicia PAVETTI INFANZON・Kenji TANAKA・  
Shigenobu TANAKA

10:45 C19

様々な波浪条件下における海面粗度の解析

○志村智也・森信人

B  
会場

9:15 C14

ひまわり8号などのマルチセンサー観測のデー  
タ同化によるゲリラ豪雨予測

○山口弘誠・上嶋一樹・堀池洋祐・中北英一

11:00 C20

2007年3月に生じた成層圏惑星規模波下方  
伝播イベントの力学と予測可能性

○向川均・野口峻佑・黒田友二・水田亮・小寺邦彦

C  
会場

9:30 C15

平成28年台風第10号での降雨特性の分析

○本間基寛・辻本浩史・増田有俊・真中朋久

11:15 C21

大気大循環モデルを用いた2013年台風第3  
号 Yagi の進路予報実験

○榎本剛・吉田聡・山崎哲・中野満寿男・山根省三・  
山口宗彦・松枝未遠・Glenn CARVER

22日  
午前

9:45 C16

UAVとドップラーライダーを用いた急峻な山  
岳地域における気象観測

○辻本浩史・井上実・志村智也・町田駿一

11:30 C22

衛星データを用いた地表面CO<sub>2</sub>フラックス量  
の推定について

井口敬雄

D  
会場

10:00 C17

Kaバンドレーダによるマルチパラメータ情報  
を利用した積乱雲発生初期の基礎的解析

○中北英一・新保友啓・佐藤悠人・山口弘誠

11:45 C23

Characterization of Monthly Precipitation  
over Indochina Region to Evaluate CMIP5  
Historical Runs

○Rattana CHHIN・Hoang-Hai BUI・

Shigeo YODEN

E  
会場

10:15 C18

ラングミュア乱流の観測

○吉川裕・馬場康之・水谷英明・久保輝広

<休 憩>

ポ  
ス  
タ  
ー

(注) ○は発表者を、  
発表番号右上の\*は、優秀発表賞対象者を示します。

一般講演……オーガナイズドセッション（Ⅱ） 2月22日（水）14：00～17：00	C会場 セミナー室4+5
--	-----------------

〈気候変動リスク情報創生プログラム〉

14：00

d4PDFを用いた気候変動時の河川流量変化の分析

○立川康人・田中智大・宮脇航平・萬和明・市川温・Sunmin KIM

14：15

地球温暖化による気象災害への影響評価

○竹見哲也・石川裕彦・中北英一

14：30

気候変動が水資源に及ぼす影響評価

田中賢治

14：45

気候変動リスクの社会・経済影響と適応策の評価手法の構築

○多々納裕一・畑山満則・横松宗太・梶谷義雄・藤見俊夫・蔣新宇・楊麗嬌・土屋哲・吉田護

15：00

気候変動による3大湾の高潮変化

○森信人・澁谷容子・中條壮大

15：15

d4PDFを用いた利根川流域降水量の極値評価

田中茂信

15：45

d4PDFを用いた気候変動の積雪水資源量への影響評価

○松井佑介・田中茂信・田中賢治・浜口俊雄

16：00

SOMマップの組み合わせによる梅雨期集中豪雨をもたらす大気場の発生頻度の将来変化解析

中北英一・○小坂田ゆかり

16：15

Simulating Storm Surge of Typhoon Haiyan using Adaptive Mesh Refinement

Marc KJERLAND

16：30

熱帯泥炭湿地林域の地下水環境へ及ぼす気候変動の影響評価と排水路管理方策の検討

○神田亜希子・城戸由能・中北英一・峠嘉哉・平野高司

16：45

A Novel Method for Analysis of Stresses on Hillslopes Considering Climate Change Effect

○Ying-Hsin WU・Eiichi NAKAKITA

<休憩>

A会場

B会場

C会場

22日午後

D会場

E会場

ポスター

A 会場	<p>一般講演……地盤 ( I ) 2月21日(火) 15:45 ~ 19:15</p>	<p>D 会場 S-143H</p>
B 会場	<p>15:45 D01* Geomorphological and Geological Characteristics of Large Catastrophic Ancient Landslides along Minjiang River in Diexi, Western Sichuan, China ○Siyuan ZHAO・Masahiro CHIGIRA</p> <p>16:00 D02* 基盤岩の異なる斜面で発生する表層崩壊に関連する土層の性質と降雨条件 ○渡壁卓磨・松四雄騎・千木良雅弘</p>	<p>17:30 D07 2015年ネパールゴルカ地震によるランドスライドの発生分布と地形的特性 ○檜垣大助・鄒青穎・加藤京樹・八木浩司・林一成</p> <p>17:45 D08 昭和期の斜面調査資料を用いた検土杖深等の分析 ○岩橋純子・松四雄騎</p>
C 会場	<p>16:15 D03* 新潟県の新第三系地すべりにおける深部流体の関与の可能性 ○西山成哲・千木良雅弘・鈴木浩一・渡部直喜</p> <p>16:30 D04 On the Relationship between Horizontal Structure of Nepali Landslides and APHRODITE's Orographic Precipitation Pattern ○Akiyo YATAGAI・Minami MASUDA・Masahiro CHIGIRA・David N. PETLEY・Melanie FROUDE</p>	<p>18:00 D09* 異なる気候環境下の花崗岩山地における土層の形成速度と化学的風化 ○當坂康紘・松四雄騎・松崎浩之</p> <p>18:15 D10 四万十付加体からなる山地斜面で発生する深層崩壊の地形・地質構造条件について ○荒井紀之・千木良雅弘</p>
D 会場 21日 午後	<p>16:45 D05 阿蘇カルデラにおける地震および降雨による斜面変動の発生場の地形的特徴 ○松四雄騎・佐藤達樹・千木良雅弘</p>	<p>18:30 D11 植生の異なる斜面・溪流系における主要金属元素 (Na, Mg, Ca) の非自由イオン運搬 ○寺嶋智巳・森泉美穂子・中村智博</p> <p>18:45 D12 地盤凍結地帯の斜面変動場における間隙水圧の観測 ○松浦純生・阿部和時・大澤光・柴崎達也・土井一生</p>
E 会場	<p>&lt;休 憩&gt;</p>	<p>19:00 D13 サイレント・ランドスライドー移動土塊とともに30m動いた地震計の記録ー ○土井一生・松浦純生・大澤光・柴崎達也・土佐信一</p>
ポ ス タ ー	<p>17:15 D06 関東地震による震生湖地すべりの地質構造とその将来的意義 ○千木良雅弘・鈴木毅彦・笠間友博</p>	

(注) ○は発表者を、  
発表番号右上の\*は、優秀発表賞対象者を示します。

<p>一般講演……地盤（Ⅱ） 2月22日（水）9：00～12：00</p>	<p>D 会場 S-143H</p>
---	------------------------

9：00 D14\*  
On the Seismic Responses of a Deep-Seated Landslide: Insights from Field Monitoring  
○Ning MA・Gonghui WANG・Toshitaka KAMAI・Issei DOI

10：45 D20  
平成28年（2016年）熊本地震による火山研究所溶岩円頂丘における地すべりと土質力学特性  
○後藤聡・釜井俊孝・王功輝・土井一生

9：15 D15  
Experimental Study on the Initiation Mechanism of Landslide on Granitic Residual Soil Slope in the Southern Area of Anhui, China  
○Haibo MIAO・Gonghui WANG・Xiuwang ZHANG・Huhu LIU

11：00 D21  
平成28年（2016年）熊本地震による流動性崩壊の発生・運動機構について  
○王功輝・土井一生・釜井俊孝・後藤聡

9：30 D16  
地すべりハザードマッピングに対する有効応力解析法の適用性  
○柏木敬・飛田哲男・千木良雅弘

11：15 D22  
2016年熊本地震による都市域の斜面災害  
○釜井俊孝・土井一生・王功輝・東良慶・後藤聡

9：45 D17  
地すべり土塊による絞り出しに関する模型実験  
○古谷元・小川峻・藤森洋充・王功輝

11：30 D23  
熊本県益城町地域におけるボーリング調査の地質学的考察  
○北田奈緒子・井上直人・三村衛・後藤浩之

10：00 D18\*  
不均一な上載荷重を受けるヒンジ式アーチカルバート縦断方向の動的遠心模型実験  
○宮崎祐輔・澤村康生・岸田潔・木村亮

11：45 D24  
益城町安永地区の地盤特性と地震被害への影響に関する検討  
○三村衛・肥後陽介・北田奈緒子・宇野匡範・宗哲仁

10：15 D19  
液状化地盤の動的挙動に及ぼす初期構造（固有）異方性の影響  
○上田恭平・浦谷啓太・井合進

<休憩>

（注）○は発表者を、  
発表番号右上の\*は、優秀発表賞対象者を示します。

A  
会場

B  
会場

C  
会場

D  
会場

22  
日  
午前

E  
会場

ポ  
ス  
タ  
ー

A 会場	<p>一般講演……総合防災（I） 2月21日（火）15：45～18：30</p>		<p>E 会場 S-519D</p>
B 会場	<p>15：45 E01 救急医療と耐震工学とが連携した熊本地震の被害状況調査に基づく医療機関の総合防災対策 ○下戸学・趙晃済・大鶴繁・加藤陽一・人見真由・新本翔太・倉田真宏・杉山治・相田伸二・牧紀男</p>	<p>17：15 E07* 外力の不確実性と逸脱者の存在を考慮した津波避難計画の評価方法 ○中居楓子・Junko MOCHIZUKI・Sebastian POLEDNA・畑山満則・熊谷兼太郎</p>	
C 会場	<p>16：00 E02* 熊本地震における避難場所の把握に関する研究 ○船越康希・畑山満則</p>	<p>17：30 E09* 伊勢市における「地域気象情報」をベースとした実践的研究の展開 ○河田慈人・竹之内健介・矢守克也</p>	
D 会場	<p>16：15 E03* 屋内津波避難訓練に関する一考察～黒潮町幡多郡黒潮町を例に～ ○杉山高志・矢守克也</p>	<p>17：45 E10 Seafood Consumption in Japan after the Great East Japan Earthquake: An analysis using Theory of Planned Behavior Giuseppe ALIPERTI</p>	
E 会場 21日 午後	<p>16：30 E04* 内生的知識、異質性選好と社会ネットワークの動学：共助のポテンシャルに関する基礎的考察 ○小谷仁務・横松宗太</p>	<p>18：00 E11* 2016年熊本地震の余震記録を用いた拡散波動場理論に基づく地盤構造同定 ○長嶋史明・川瀬博</p>	
ポ ス タ ー	<p>16：45 E06 津波減災における統合的施策のリスクベース設計手法の開発 ○安田誠宏・岡安章夫・多々納裕一・河野達人</p>		
<p>&lt;休 憩&gt;</p>			

（注）○は発表者を、  
発表番号右上の\*は、優秀発表賞対象者を示します。

一般講演……総合防災（Ⅱ） 2月22日（水）9：00～12：00	E会場 S-519D
-------------------------------------	---------------

9：00 E13\*

千種川流域を対象にしたRRIモデルによる  
降雨流出・洪水氾濫統合型解析

○山本浩大・佐山敬洋・寶馨・近者敦彦・中村要介

9：15 E14\*

Estimation of Shear Wave Velocity Structure  
in Sagaing City, Myanmar by Microtremor  
Observation

○Phyoe Swe AUNG・Hiroshi KAWASE・  
Shinichi MATSUSHIMA・Tun NAING

9：30 E15

Women's Involvement in the Process of  
Disaster Risk Reduction and Disaster  
Management: Understanding Gender  
Differences using FGDs

Marina HAMIDZADA

9：45 E16\*

Assessment of the 2016 Minami-Aso  
Landslide in Kumamoto Prefecture Based on  
LiDAR Data and Numerical Simulation

○Hendy SETIAWAN・Kyoji SASSA・  
Kaoru TAKARA・Makoto OHASHI・  
Dang KHANG・Takahiro SAYAMA

10：00 E17\*

Natech-RateME - Comprehensive Natech  
Performance Rating System: Evaluation of  
Current Systems and Identification of Key  
Elements

Maria Camila SUAREZ

10：15 E18

火山災害における避難指示と想定外リスク

○大西正光・関克己・湧川勝己・小林潔司

<休 憩>

10：45 E19\*

Estimation of Non-point Source Pollution  
in the Pingqiao River Basin of China based  
on a Spatial Source Hydrograph Separation  
Approach

○Han XUE・Takahiro SAYAMA・  
Kaoru TAKARA・Bin HE

11：00 E20\*

Study on the Impacts of River-Damming  
and Climate Change on the Mekong Delta of  
Vietnam

○Doan Van BINH・Sameh KANTOUSH・  
Tetsuya SUMI

11：15 E21\*

Quantitative Assessment of Natech Risks  
and Disaster Evacuation Planning in Areas  
Subject to Natech Risks

Haruki SUDA

11：30 E22

熊本地震における支援物資の流れに関する考  
察

○畑山満則・西脇文哉

11：45 E23

Social Background in Char Areas Bangladesh:  
Implication for Japanese Hazard Mapping  
Technology

○Kumiko FUJITA・Rajib SHAW・  
Hajime NAKAGAWA

A  
会場

B  
会場

C  
会場

D  
会場

E  
会場

22  
日  
午前

ポ  
ス  
タ  
ー

(注) ○は発表者を、  
発表番号右上の\*は、優秀発表賞対象者を示します。

A 会場	<p>一般講演……総合防災（Ⅲ） 2月22日（水） 14：00～15：00</p>	<p>E 会場 S-519D</p>
B 会場	<p>14：00 E24 Impacts of the Great East Japan Earthquake and Tsunami on Industrial Parks: Analysis Based on a Questionnaire Survey Junlei YU・○Ana Maria CRUZ・ Eric PIATYSZEK・Michel LESBATS・ Alicja TARDY・Akihiko HOKUGO・ Hirokazu TATANO</p> <p>14：15 E25 The Factor, Sense of Community in Community Based Disaster Risk Management ○Subhajyoti SAMADDAR・Hirokazu TATANO</p>	
C 会場	<p>14：30 E08 時間論から見た災害リスクコミュニケーション 矢守克也</p> <p>14：45 E05 リアルタイム浸水ハザードマッピング実現に向けた現地浸水情報の同化技術 ○佐山敬洋・寶馨</p>	
D 会場		
E 会場 22日 午後		
ポ ス タ ー		



<p><b>ポスターセッション</b>                  2月21日(火) 9:30～19:15                  22日(水) 9:00～15:00</p> <p>ポスターセッション・コアタイム                  2月22日(水) 12:00～14:00</p>	<p>ハイブリッドスペース</p>
--	-------------------

A  
会場

P01 \*

Impact of Rapid Tourism Growth on Water Scarcity in Bali, Indonesia

○Eva Mia SISKI · Takahiro SAYAMA · Kaoru TAKARA

P07 \*

海洋プレート内地震の発生頻度と海底年代の関係およびその発生メカニズムの考察

○上山和也 · 深畑幸俊

B  
会場

P02 \*

Theoretical Analysis of Humanitarian Aid Driven Cyclone Aila (2009) Recovery At Koyra Upazila of Bangladesh

○Md Shibly SADIK · Hajime NAKAGAWA · Rajib SHAW · Md Rezaur RAHMAN

P08

地震前兆宏観現象の統計的検定に関するいくつかの問題

加藤護

C  
会場

P03

地域コミュニティと連携するための土砂災害情報の高度化の検討

○中谷加奈 · 福本彦吉 · 長谷川祐治 · 宮田秀介 · 藤田正治

P09

不均質震源モデル

関口春子

P10

粒子フィルタによる低周波微動検出の試み

宮澤理稔

D  
会場

P04 \*

地域における対話型防災ゲームの意義とは何か?～クロスロードを通じて～

○李勇昕 · 矢守克也

P11 \*

常時微動を用いた地震波干渉法によるスロースリップに伴う地震波速度変化の検出への取り組み

植村美優

P05

Reviving Intangible Cultural Heritage in Disaster Affected Communities: Benefits and Limitations - Case Study of Ogatsu (Ishinomaki, Miyagi)

Florence LAHOURNAT

P12 \*

特異な位相応答の理解に向けたMT観測

○岡崎智久 · 吉村令慧 · 山崎健一 · 小松信太郎 · 大志万直人

E  
会場

P06

緊急地震速報への市民の対応：キャンパス公開来場者アンケートより

○加納靖之 · 鈴木健士 · 片尾浩 · 坂上啓 · 橋本学 · 深畑幸俊 · 上山和也 · 宮崎真大 · 伊藤喜宏

P13

焼岳での電磁気観測 — 広帯域 MT 観測および磁気探査 —

○吉村令慧 · 橋本武志 · 宮崎真大 · 中川潤 · 加茂正人 · 菅野倭大朗 · 高田将仁 · 三浦勉 · 中本幹大 · 荒上夏奈 · 山崎健一 · 大見士朗 · 井口正人

ポ  
ス  
タ  
ー

(注) ○は発表者を、  
発表番号右上の\*は、優秀発表賞対象者を示します。

A  
会場

P14

**エチオピア・アファール凹地プレート拡大軸での磁気異常探査**

○石川尚人・吉村令慧・Tesfaye KIDANE・望月伸竜・加々島慎一・小木曾哲・東野伸一郎・乙藤洋一郎

P15

**大断層の長期的滑り速度における脆性塑性遷移域のレオロジーの重要性**

野田博之

P16 \*

**自然乾燥状態の円筒形岩石試料に対する比抵抗トモグラフィの試み**

○鈴木健士・吉村令慧・山崎健一・大志万直人

P17

**近畿地方に於ける歪の変化について**

森井互

P18

**近畿地方北部における稠密地震観測**

片尾浩

P19

**和歌山平野の地下速度構造モデルの構築とMTL（和泉・金剛区間）による強震動予測**

○上林宏敏・大堀道広・川辺秀憲・釜江克宏・山田浩二・岩田知孝・関口春子・浅野公之

P20 \*

**山陰地方の下部地殻における三次元地震波速度構造**

○津田寛大・飯尾能久・澁谷拓郎

P21 \*

**常時微動を用いた米国ネバダ州リノ盆地の速度構造推定**

○福岡侑里・松島信一・川瀬博・John G. ANDERSON

P22

**紀伊半島下の詳細な地震波減衰構造**

○北佐枝子・澁谷拓郎

P23

**南海トラフ巨大地震の予測高度化を目指したフィリピン海スラブ周辺域の構造研究（3）**

○澁谷拓郎・寺石真弘・小松信太郎・山崎健一・山下裕亮・三浦勉・大倉敬宏・吉川慎・井口正人・為栗健・園田忠臣

P24

**足柄平野西部における地盤震動特性の評価**

○津野靖士・地元孝輔・三宅弘恵・佐藤浩章・松島信一・重藤迪子・高井伸雄・神野達夫・瀬瀬一起・山中浩明・川瀬博

P25 \*

**粘弾性緩和の影響を考慮した2003年十勝沖地震以降のプレート間すべりの時空間変化の推定**

○伊東優治・西村卓也

P26 \*

**GNSSデータに基づく2013年以降の東海地方スロースリップイベントの時空間発展の推定**

○坂上啓・福田淳一・加藤照之・西村卓也

P27

**2016年熊本地震における臨時余震観測**

○宮崎真大・片尾浩・加納靖之・山下裕亮・三浦勉・津田寛大・村本智也・飯尾能久

P28

**2016年熊本地震で生じた地表地震断層ごく近傍の地震動特性について**

○香川敬生・吉田昌平・上野太士・後藤浩之

P29

**KiK-net 益城サイトの非線形地盤振動特性**

○後藤浩之・秦吉弥・吉見雅行・吉田望

P30

**益城町市街地における重力探査に基づく重力基盤構造の推定**

○盛川仁・野口竜也・駒澤正夫・有村翔也・田村充宏・中山圭・荒木俊・宮本崇・飯山かほり・秦吉弥・吉見雅行・香川敬生・後藤浩之

B  
会場

C  
会場

D  
会場

E  
会場

ポ  
ス  
タ  
ー  
|

(注) ○は発表者を、  
発表番号右上の\*は、優秀発表賞対象者を示します。

P31

熊本地震における液状化と水道管路被害

○ 鎌田泰子・須田瑛哉・水上昌信

P32

振幅を用いた 2015 年 8 月桜島マグマ貫入イベントに伴う地震の震源推定

○ 中道治久・井口正人・為栗健

P33 \*

ビンガム流体マグマを仮定した 2014 年からのインドネシアシナブン火山収縮の終息推定

○ 堀田耕平・井口正人・大倉敬宏・  
Muhamad HENDRASTO・Hendra GUNAWAN・  
Umar ROSADI・Estu KRISWATI

P34

軸力計測による杭基礎の施工管理評価システムの開発

○ 田村修次・伊藤雅崇・上田恭平

P35 \*

冷却節理の発達した玄武岩の風化過程 — 近畿北部、田倉山火山の例 —

○ 平田康人・千木良雅弘

P36

長野県神城断層地震時に発生した長野県小谷村における斜面崩壊とその崩壊機構の検討

○ 佐竹亮一郎・田島一希・若井明彦・王功輝・  
渡部直喜・古谷元・蔡飛

P37 \*

2016 年熊本地震により発生した阿蘇中央火口丘西部における斜面崩壊の地形・地質的特徴

○ 佐藤達樹・千木良雅弘・松四雄騎

P38 \*

急勾配河川に形成された天然ダムの決壊機構に関する実験的研究

○ 阪本さよ・王功輝・釜井俊孝

P39 \*

Identifying Rainfall Threshold for Triggering Landslide in Halong City Based on the Empirical Approach

○ Nguyen Duc HA・Takahiro SAYAMA・  
Kaoru TAKARA・Kyoji SASSA

P40 \*

積雪期の斜面変動場における特異な間隙水圧変動

○ 大澤光・松浦純生・松四雄騎・岡本隆・柴崎達也

P41 \*

Low Flow Forecasting with Recession Analysis Approaches

○ Kalina・Takahiro SAYAMA・Kaoru TAKARA

P42 \*

Flash Floods in the Arid Arabian Wadis: Processes, Hydrological Modeling and Mitigation

○ Mohammed ABDEL-FATTAH・  
Sameh KANTOUSH・Mohamed SABER・  
Tetsuya SUMI

P43

冬季北半球中緯度における雲の季節内変動に関する解析

○ 佐藤令於奈・西憲敬・向川均

P44

京都市近郊における大気境界層乱流 — 冬季集中観測結果 —

○ 堀口光章・吉田敏哉・竹見哲也

P45

都市気象 LES モデルを用いたゲリラ豪雨の種の解析

○ 山口弘誠・土橋知紘・中北英一

P46 \*

Performance Assessment of Global Satellite Mapping of Precipitation Products over the Tianjin City Centre, China

○ Li YU・Kenji TANAKA・Shigenobu TANAKA

(注) ○は発表者を、  
発表番号右上の\*は、優秀発表賞対象者を示します。

A  
会場

B  
会場

C  
会場

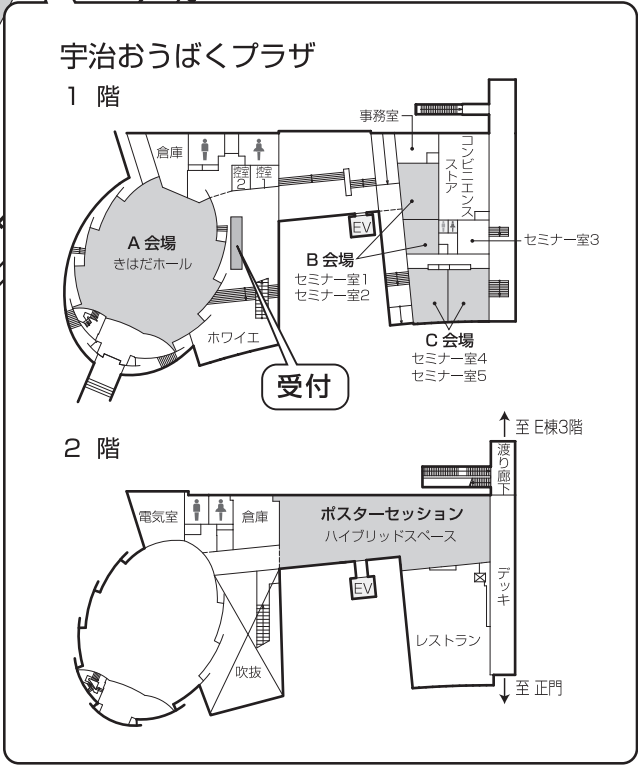
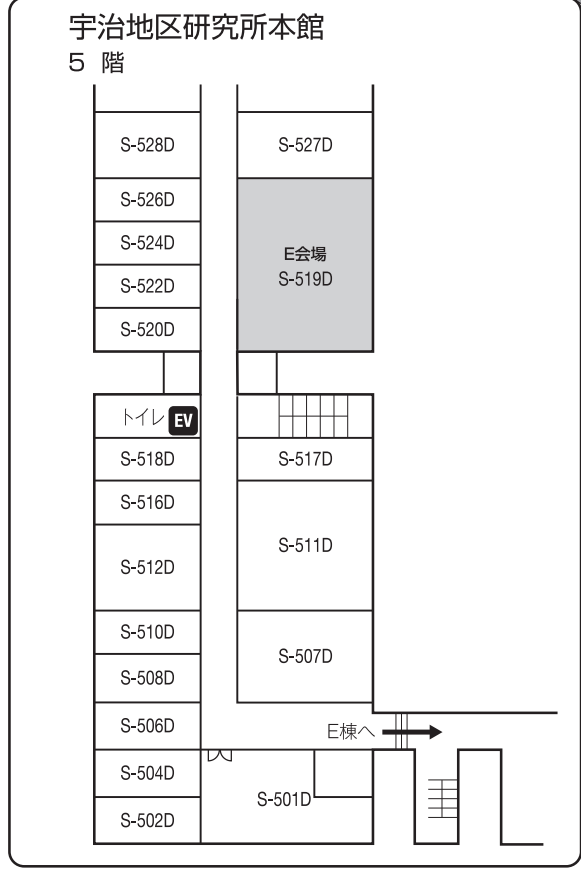
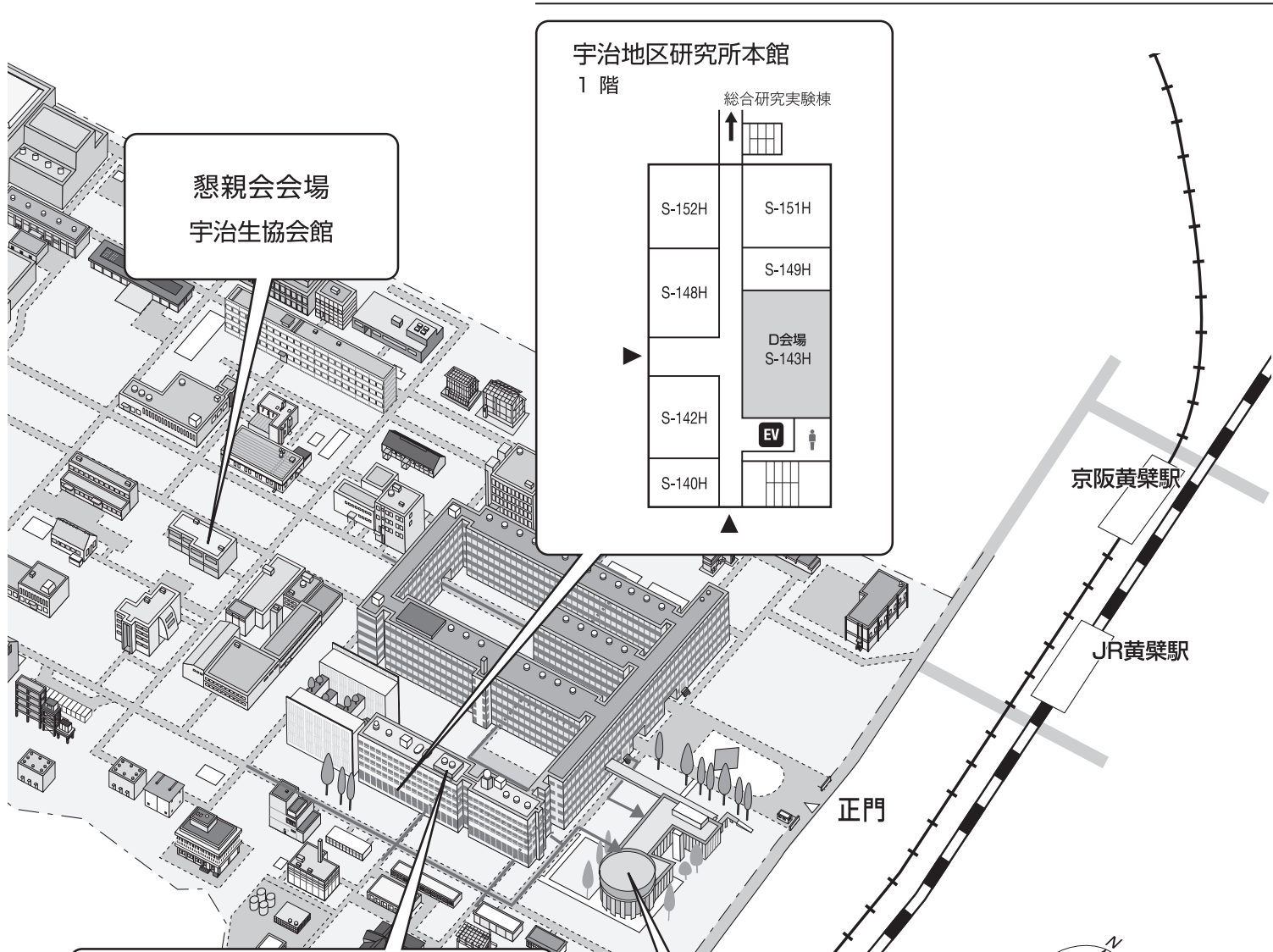
D  
会場

E  
会場

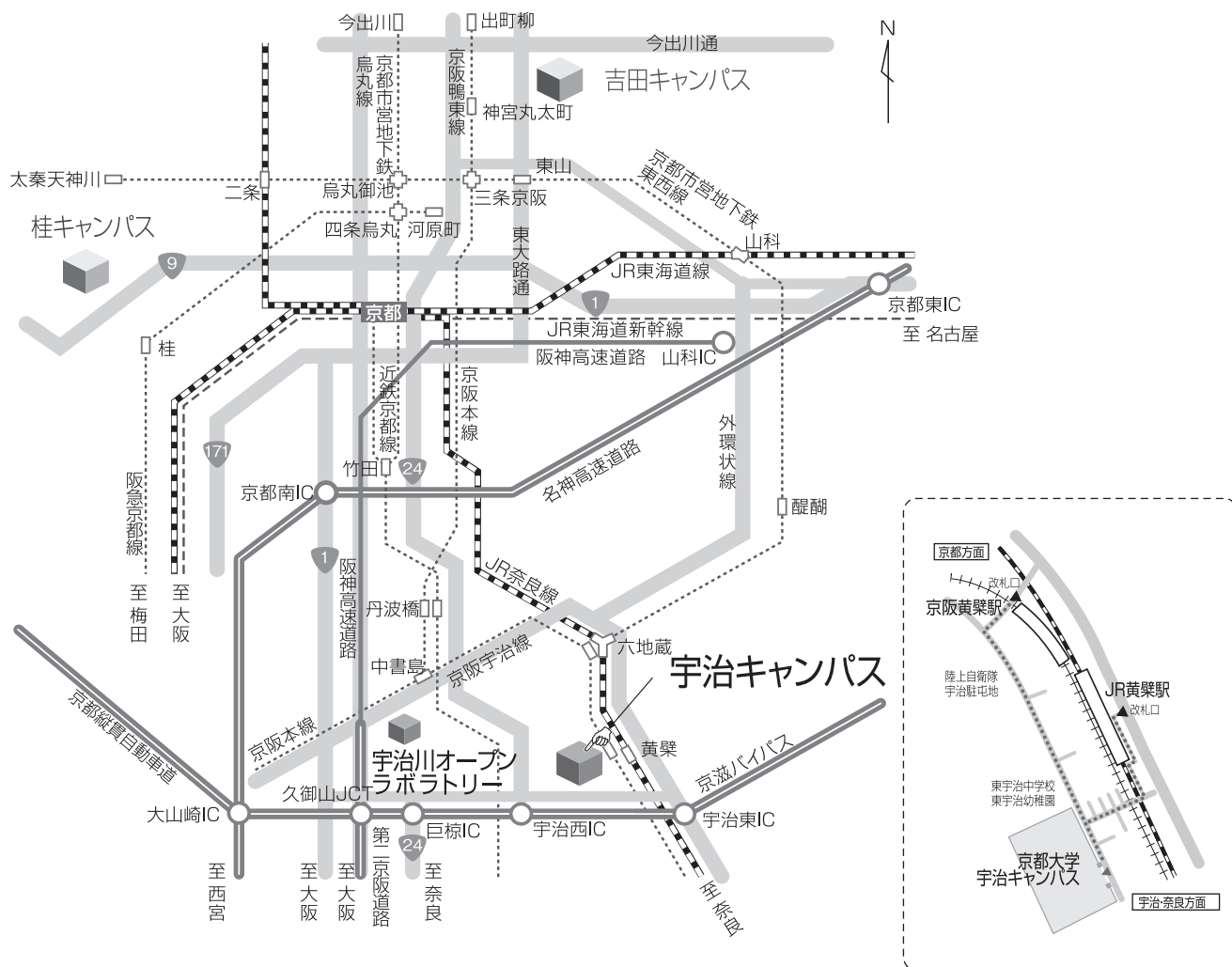
ポ  
ス  
タ  
ー

A 会場	<p>P47 *</p> <p>ネパールの Landslide と APHRODITE 降水量とモンスーンインデックスの関係</p> <p>○安藤千晶・鈴木隆太郎・谷田貝亜紀代・増田南波・檜垣大助・鄒青穎・David N. PETLEY・Melanie FROUDE・千木良雅弘</p>	<p>P55</p> <p>田辺中島高潮観測塔における 2016 年夏季観測結果</p> <p>○馬場康之・水谷英朗・久保輝広・内山雄介・森信人・渡部靖憲・山田朋人・猿渡亜由未・大塚淳一・二宮順一</p>
B 会場	<p>P48 *</p> <p>融雪型火山泥流の融雪・浸透過程のモデル化</p> <p>○山口翔大・宮田秀介・堤大三・藤田正治</p> <p>P49 *</p> <p>マルチハザードシミュレータを用いた土砂災害の警戒避難情報の高度化に関する研究</p> <p>○山野井一輝・藤田正治</p>	<p>P56</p> <p>2016 年田辺湾における水温・塩分濃度観測</p> <p>○水谷英朗・馬場康之・久保輝広</p> <p>P57</p> <p>田辺湾近隣河川における河床設置型河川水温計測</p> <p>○久保輝広・水谷英朗・武藤裕則</p>
C 会場	<p>P50</p> <p>配置や角度の異なる透過型水制群の土砂捕捉機能に関する実験的研究</p> <p>○長谷川祐治・SHAMPA・橋崎卓・中川潤・竹林洋史・川池健司・中川一</p> <p>P51</p> <p>ダムの上 一下流河川区間における砂州地形特性のモニタリング</p> <p>○小林草平・角哲也・竹門康弘</p>	<p>P58</p> <p>ジオラマ模型による水防災教育の実践</p> <p>○戸田圭一・石垣泰輔・馬場康之・武田誠・張浩</p> <p>P59</p> <p>小学校中学年を対象とした講義型防災教育の取り組みー白浜町西富田小学校での実施例ー</p> <p>○石垣泰輔・馬場康之・中島隆介・島田広昭・戸田圭一</p>
D 会場	<p>P52 *</p> <p>Dynamics of Sand Bars in Braided River: A Case Study of Brahmaputra-Jamuna River</p> <p>○SHAMPA・Yuji HASEGAWA・Hajime NAKAGAWA・Hiroshi TAKEBAYASHI・Kenji KAWAIKE</p>	<p>P60 *</p> <p>Study on the Erosion and Stability of the Banks of Uji River, Japan</p> <p>○Ahmed ALY EL-DIEN・Hiroshi TAKEBAYASHI・Masaharu FUJITA</p>
E 会場	<p>P53 *</p> <p>Sediment Transport and Channel Morphological Change of Ayeyarwady River near Mandalay City</p> <p>○Tin Tin HTWE・Hiroshi TAKEBAYASHI・Masaharu FUJITA・Win HLAING</p> <p>P54 *</p> <p>ダムによる流況平滑化指標と底生動物群集との応答</p> <p>○波多野圭亮・角哲也・竹門康弘</p>	<p>P61</p> <p>横手盆地の盆地境界の推定のための地下構造調査</p> <p>○松島信一・佐藤啓太</p> <p>P62</p> <p>地震波動伝播のための基盤的コミュニティ・コードの開発</p> <p>○前田拓人・土井一生</p>

(注) ○は発表者を、  
発表番号右上の\*は、優秀発表賞対象者を示します。



## 会場へのアクセス



### ～ 優秀発表賞授賞式・懇親会のご案内 ～

日時：2017年2月22日(水) 18:00～20:00

場所：宇治生協会館 (21ページの地図をご参考ください)

[教職員・学生の皆さまへ] 懇親会の会場への入場には、チケットが必要です

[連絡先] 京都大学防災研究所 広報出版企画室 0774 (38) 4640 E-mail: dpri-ksk@dpri-kyoto-u.ac.jp

[後援] 一般財団法人 防災研究協会



本事業は、京都府及び公益財団法人京都文化交流  
コンベンションビューローの助成金を活用し実施しています。